

## スポット ニュース

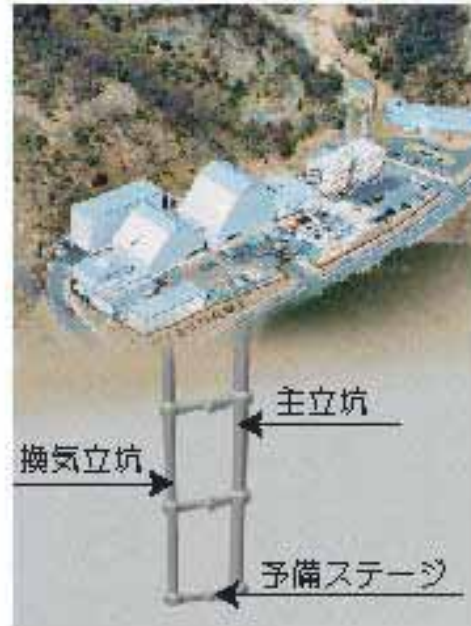
### 平成17年度の瑞浪超深地層研究所の主な計画

瑞浪超深地層研究所では、主立坑と換気立坑の掘削工事を継続して行います。平成17年度は深さ約300㍍まで掘削する予定です。また、深さ約100㍍おきに主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道（3本）の掘削（「予備ステージ」といいます）も行います。

研究については、主立坑及び換気立坑において壁面の観測や地下水の量の測定を継続して行います。深さ100㍍おきに掘削する主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道においては、壁面の観測やボーリング孔を用いた地下水の水圧・水質の観測、岩盤への力のかかり具合の測定などを行います。また、立坑を掘削する際の発破を利用して地下を調べる研究も行います。

地上では、深いボーリング孔（MIZ-1号孔）及び浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）を用いた地下水の水圧や水質の長期観測を行います。

今後も安全第一に研究や工事を進めてまいりますのでご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



研究坑道イメージ図

## 立坑掘削のための設備 ～スカフォード～

「スカフォード」あまり聞きなれない言葉だと思います。これは、瑞浪超深地層研究所で行っている立坑を掘削する際に使用する作業員の作業用の吊り足場で、主立坑と換気立坑の中に1つずつワイヤーロープで吊り下げられています。スカフォードは、立坑内の作業員を落下物から守るヘルメットの役目もしています。

大きさは主立坑のスカフォードが、高さ約18㍍、換気立坑のスカフォードの高さが約15㍍あります。



換気立坑内に入れる前のスカフォード

## 瑞浪超深地層研究所を見てみませんか？

下記の日程にて瑞浪超深地層研究所の研究坑道などの見学会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。この見学会にはお手数ですが事前申し込みが必要です。見学を希望される方は、住所、氏名、電話番号をお知らせの上、5月19日（木）までにお申し込みください。なお、見学会は毎月定期的で開催する予定です。

《開催日時》平成17年5月22日（日） ①10:00～11:30 ②13:30～15:00

《申し込み先》【フリダイヤル】0120-333-112(地域交流課) 【FAX】0572-66-2124

【Eメール】tgc@jnc.go.jp

## 瑞浪国際地科学交流館ミニギャラリーの展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「夢の会 絵手紙展示会」の作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運びください。

【期間】平成17年5月2日～平成17年5月31日 10:00～21:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8

## 今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】（4月20日現在）

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事（主立坑：77㍍ 換気立坑：86㍍）
- ②立坑掘削時の発破の振動を利用した地下を調べる研究
- ③深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ④浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑥気象観測及び地下水位観測
- ⑦地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご意見・ご要望などございます方、また瑞浪超深地層研究所の見学をご希望される方は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

【フリダイヤル】0120-333-112 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tgc@jnc.go.jp

東濃地科学センター 地域交流課（青木、木内、福島）

《東濃地科学センターホームページ <http://www.jnc.go.jp/ztounou/index.htm>》

## 来月の主な作業内容（5月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事
- ②立坑掘削時の発破の振動を利用した地下を調べる研究
- ③深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ④浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑥気象観測及び地下水位観測
- ⑦地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測